



みちした

学校だより
平成28年10月25日
魚津市立道下小学校

ホームページ URL <http://www.michishita-e.tym.ed.jp>

スポーツの秋・芸術の秋・交流の秋

10月22日（土曜日）、様々な行事がありました。

天神山野球場ではTボール大会が行われ、本校の男子がこの大会に向けて、学年の枠を超えてチームを作り、秋晴れの下、打ったり守ったりとがんばっていました。

新川文化ホールでは、魚津市民文化祭が開催され、教育部門では道下っ子の絵画や立体作品、習字を展示し、多くの方々に見ていただきました。

すずめ児童センターでは「すずめフェスタ2016」が行われ、たくさんの親子連れで賑わっていました。手作り品のお店やゲームコーナーで係の仕事をする道下っ子に感心しました。友達同士で来ている子供たちも、多くの人との交流を楽しんでいました。綿菓子コーナーには長い列ができていました。

道下小学校の体育館では、公民館のスポーツサークルの活動が行われ、ここでも仲良く元気にリレーを楽しむ姿が見られました。作品を鑑賞する道下っ子に出会いました。

土曜日を有意義に過ごす姿を見て、さわやかな気持ちになりました。

学習参観・学校保健委員会の参加、 ありがとうございました。



子育てのポイントはこれ！

「4月、3人の孫が小学校に入学した。長男、次男、長女の子供である。長男の家では、母親が仕事をやめて子育てをしている。次男の家では、母親が仕事の量や時間を減らして子育てをしている。長女は、仕事を続けて子育てをしている。まさに三人三様の子育てである。そんな孫たちの親に共通していることがある。それは、どんなに忙しくても、子供が泣いたり怒ったりしているときは、何も言わずぎゅっと抱きしめ、少し落ち着いたときに「どうしたの?」「そうか○○ちゃんも〜したかったの」等と話を聞き、共感していることである。しかもしゃがんで目線を合わせてである。ババ馬鹿といわれるかもしれないが、本当に素直でのびのびと育てている。」

小学生でも高学年になると目線は親よりも高くなることもありますが、目を見て話を聞いて、困っているときにはいっしょに解決策を考えると子供の心は落ち着きます。家族とともに過ごす時間、家族からの言葉が子供の心を豊かにします。親と子の会話を増やす秋にしてください！